

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

休耕田の雑草刈り、野菜作りにおける残幹処理に使用します。

他の用途には使用しないでください。

2 作業のための調整

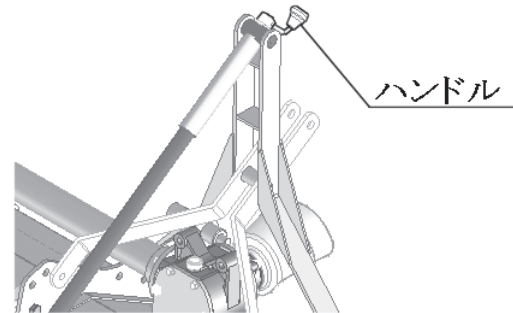
▲ 注意

- 調整をするとき、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 調整をするとき、エンジンをとめずに、あるいは駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいはトラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 調整をするとき、作業機を接地しないで行うと、思いがけない原因で作業機が降下してケガをする事があります。作業機を接地して行ってください。

1. 刈り高さの調整

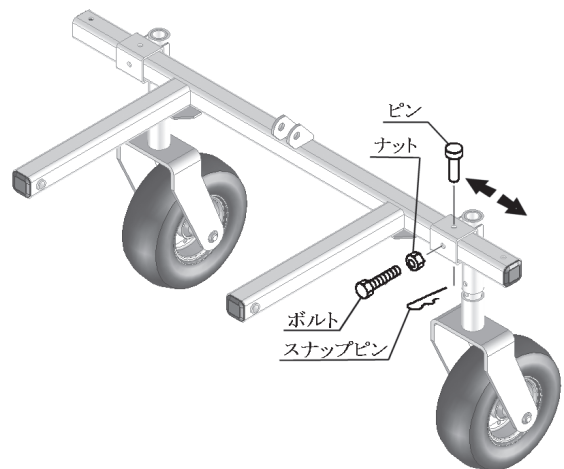
ハンドルをまわし、ゲージホイールを上下させ刈高さを調整します。ハンドルを右に回すと刈高さが低くなり、左に回すと刈高さが高くなります。高さ調整後はストoppaでハンドルを固定してください。

湿田など軟弱地では、ゲージホイールを地面から浮く位置まで上げてください。



2. タイヤ幅の調整

うね幅に合わせてタイヤ幅の調整ができます。ボルト、ナットをゆるめ、ピン、スナップピンを取り外し、タイヤの位置を調整してください。



▲ 注意

- 湿田などゲージホイールがぬかる軟弱地で作業すると、ゲージホイールを破損することがあります。ゲージホイールを地面から浮く位置まで上げてください。

3 作業要領

⚠ 警告

- 作業をするとき、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転数を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転数を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をするとき、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

⚠ 注意

- 運転中または回転中、飛散物によりケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行うとき、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

- (1) PTOの標準回転数は、500～540rpmです。この回転数で作業を行ってください。
- (2) 作業速度は2～4km/hです。ほ場の状態、草の量、トラクタ馬力、運転技術の熟練度等によって、トラクタの操作が楽に行えるよう、作業速度を選んで作業を行ってください。
- (3) ほ場の形などによって、効率の良い作業方法を工夫してください。

- (4) 外周部を刈取るときは、作業速度を低速にして、ほ場の凹凸や障害物にたえず注意して作業してください。
- (5) 作業中に異常な振動や音が発生したときは、
 - ① ただちに停止し、PTOを切りエンジンをとめてください。
 - ② 回転部や可動部が止まっていることを確かめてから、原因を調べ、その原因を取り除いて作業を再開してください。
- (6) バックや旋回をするときは、機体を上昇させてください。機体を上昇させないとタイヤのパンクや機体破損の原因となります。

4 運 搬

⚠ 注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込んだり、飛散物により、ケガを負わせる事があります。移動走行するときは、PTOを切ってください。

1. PTOを切ってください。
2. トラクタの油圧操作レバーを操作し、作業機を持ち上げてください。
3. トラクタの3点リンクの下降を防止して、移動を開始してください。